

2019年5月30日
東京急行電鉄株式会社
ソフトバンク株式会社

**東急電鉄とソフトバンク、5月31日(金)から大井町線に
4Gデータ通信機能を備えたLED蛍光灯一体型の防犯カメラを鉄道業界として初めて試験導入**

東京急行電鉄株式会社(本社:東京都渋谷区、取締役社長:高橋 和夫、以下「東急電鉄」)とソフトバンク株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO:宮内 謙、以下「ソフトバンク」)は、車両内のセキュリティ向上を目的として、2019年5月31日(金)から、4Gデータ通信機能を備えたLED蛍光灯一体型の防犯カメラ「IoTube(アイ・オー・チューブ)」を東急電鉄大井町線の車両に試験導入します。

IoTubeは、Wi-Fiや4Gのデータ通信によってカメラ映像を送信することができ、遠隔で記録映像を確認できるLED蛍光灯一体型の防犯カメラです。鉄道車両に4Gデータ通信機能を備えたLED蛍光灯一体型の防犯カメラを搭載する試みは、鉄道業界初(※1)となります。IoTubeは、特許技術(※2)を活用して株式会社MOYAI(本社:東京都中央区、代表取締役 CEO:渡邊 亮)が開発した製品です。今回の試験導入では、試作機を用いてIoTube本体の強度や画像の撮影角度、電波状況を確認し、東急線各車両への本導入に向けた仕様の検討を行います。

これまで、車内に設置されたカメラの記録映像を確認するには、車内のカメラから記録媒体を抜き取って事務所などに持ち帰り、専用パソコンで行う必要がありました。IoTubeを活用することで、事務所などの遠隔地から記録映像を確認することが可能になるため、車両内トラブルの発生時における対応の迅速化などを目指します。

東急電鉄は、中期3か年経営計画「Make the Sustainable Growth」において、鉄道事業の強靱化を目指しており、AI(人工知能)やIoTなどの先端技術を活用した実証実験の実施や実用化を通して、持続可能な、事故の未然防止や早期復旧などに取り組んでいます。ソフトバンクは、「Beyond Carrier」という事業戦略の下、通信事業者の枠を超えて、AIやIoTをはじめとする先端技術を活用して世の中を変えていくサービスを提供し、情報革命を通して人類と社会への貢献を推進しています。

両社は、今回の試験導入を通して車両内の犯罪防止および利便性の高いサービスを追求し、セキュリティや顧客満足度の向上に貢献します。また、将来的には、IoTubeに多様なセンサーを搭載しそのデータを活用することで、AIやIoTを融合した次世代型ネットワークカメラとして、不審物の自動検出など、新たなサービスや新規事業の創出を目指します。

IoTubeの試験導入の詳細は別紙のとおりです。

以 上



▲IoTube製品イメージ

<ソフトバンクの新規事業に関するお客さまからの問い合わせ先>

<https://tm.softbank.jp/form/contact/alliance/index.php>

※1 東急電鉄調べ。(2019年5月30日時点)

※2 特許技術は、株式会社MOYAIの関係会社が保有するものです。

・IoTubeは、株式会社MOYAIの商標です。

・Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

・SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

・その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

4Gデータ通信機能を備えたLED蛍光灯一体型の防犯カメラ「IoTube(アイ・オー・チューブ)」の試験導入について

1. 試験導入期間: 2019年5月31日(金)～2019年6月30日(日)(予定)

※ 試験導入期間は、仕様の検討状況に応じて延長する可能性があります。

2. 対象車両: 大井町線 6121編成2号車、9001編成2号車(各車両に4個搭載)

3. 各社の役割および協力会社:

- ・東京急行電鉄株式会社: IoTube試験導入主体、IoTubeの開発協力
- ・ソフトバンク株式会社: IoTubeの販売、通信サービスパートナー
- ・株式会社MOYAI: IoTube開発、製造、発売

4. 試験導入の目的

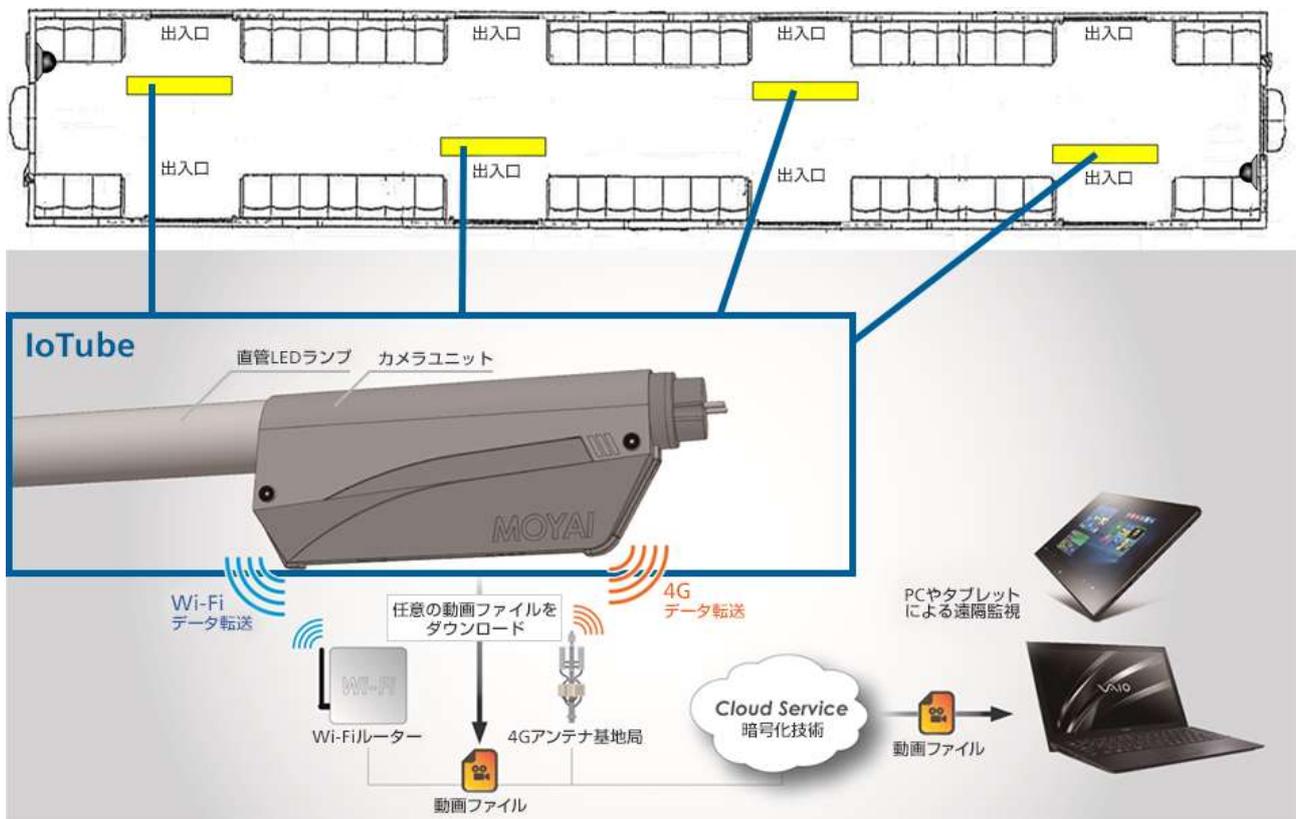
東急線各車両へのIoTube本導入に向けた、IoTube本体の強度や記録映像の撮影角度、電波状況の確認および検討。

5. プライバシーの保護について

- ・防犯カメラを設置している車両であることを、ステッカーを車内に掲出してお客さまに周知します。
- ・防犯カメラの映像は、IoTube本体に搭載するmicro SDに一時的に保存され、約3日間で上書き・更新します。
- ・記録映像に関しては閲覧できる社員を限定するなど、関係法令や社内規定に則り厳重に管理します。

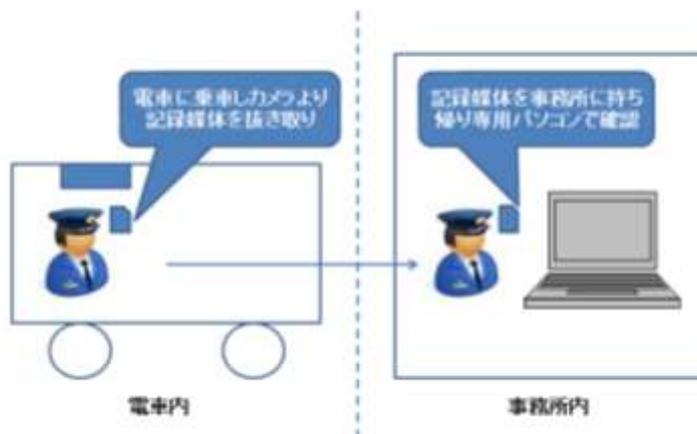
6. IoTube車両搭載位置および利用イメージ

-電車内-



7. 記録映像の確認方法の違い(イメージ)

【従来】



【本製品導入後】



<参考>車内防犯カメラの設置について

東急電鉄は2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、2015年度から、全ての東急電鉄保有車両への車内防犯カメラの設置を進めており、2018年度末時点で、全156編成中(8500系は除く)57編成(36%)に設置済み、東京オリンピック・パラリンピック開催までの全編成設置を目指して取り組みます。今後も、IoTubeの試験導入の結果をふまえながら、引き続き車内防犯カメラの設置を進めます。



▲車内防犯カメラ(設置例)